

【3つの共同目標】

① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします
③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします

革新・愛知の会

第300号 2020年5月10日

平和・民主・革新の日本をめざす愛知の会

〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7労働会館東館306
Tel (052) 872-6918 FAX (052) 872-6919
Eメール: kakushin-aichi@roren.net
http://www.kakushin-aichi.jp/

インタビュー

「アベ政治もうたくなんだ」の運動を

歴史と政治に向き合う



さだかた まもる
定形 衛さん

1953年、名古屋経済大学に在籍中、国際政治史の講義で、著書『非同盟の終焉』、『アジアのパラダイム』など。現在、名古屋国際政治史の講義を担当。

三位一体の「平和・民主・革新」の大切さ

毎月送られてくる「革新・愛知の会」機関紙を手に取り、とき、題字にならんで掲げられている、「平和・民主・革新」の三つの語が印象深く目にとまります。

これら三つはそれぞれが別々に追求されるものではなく、いわば三位一体のものであると同時に実現されるものであるとの思いを強くもっています。戦場で命の

争奪をしながら民主主義を実現することはできず、また自由と民主主義なしに平和を享受することはできません。

カナダの外交官で歴史家であったH・ノーマンは、自由は空気のように不変で確実なものではなく、「意識的にかちとらなければならぬもの、熱心に守らなければならぬものである」と述べています。そして自由のための戦いは、冷淡な態度や無関心と戦うことだ

「アベ政治もうたくなんだ」の運動へ

日本の現状をみるに、2012年以降の第二次安倍政権の内外政策は、「逆コース」以上の反動ぶりであり、平和と民主主義を踏みにじり、国民による革新の運動を無視した理念どろ（二面へ）

平民の暮らし

新型コロナウイルス感染症は、人が運び、くしゃみや咳などで飛び出したウイルスが呼吸とともに鼻、肺に入るか、顔や手にくっついて侵入する▼手袋、顔の覆う物、防護服などが必要だが、足りなくして再使用をしている。自分を含めてだがウイルスを持つているかわからず、不安の中で診療や介護を行なっている。誰もが感染する可能性がある点では、平等に見える▼しかし、実際は経済格差が大きな問題に思える。

海外から帰国した人の宿泊交通代、風通しが悪く狭い生活空間、独居生活、非正規労働者の雇用打ち切り、ネットカフェ利用者の今後の生活場所、休学の長期化で進学を含めた将来設計など持てるものと持たざるものによる差が一層進むのだから▼

実際、アメリカでのこの感染症での重症化は人種間で大きく差があることが報道され、病気の元は格差にある。政治変革こそ治療だと一層思いを強めた。（早川純牛・医師、愛知民医連会長、革新愛知の会代表世話人）

わが街の革新懇

隔月掲載です。

愛知県職員革新トクの会
代表世話人
大山晴久



「愛知県職員革新トクの会」は、1998年4月に発足後、海上の森などの現地体験ツアーや、中部新空港などの学習会に取り組んできました。

同秋、愛知県の「財政非常事態宣言」を機に給与削減措置が発動される中で、組合員の気分感情にかみ合う活動スタイルとして

野党連合政権時代の方針に、魂が揺さぶられる政治を変えて職場を変える「ト〜クの会」の再生はまったなし！

に努めてきました。ネットワーク主催で「行革」などの学習会も開きましたが、「ト〜クの会」としては2011年東日本大震災後の福島原発学習会を最後に、多くの活動家のリタイアとともに名

ばかりになってしまいました。

昨年、神戸の全国革新懇交流集会に20年ぶりに参加し、大阪損保懇の奮闘などから、「懇」再開に本腰を入れる必要を再認識。

さらには日本共産党の28回大会が提起した野党連合政権時代の方針にも接し、魂が揺さぶられました。

“政治を変えて職場を変える”統一戦線の要として、「ト〜クの会」の再生は待ったなし。新日鉄革新懇の経験も参考に、職場門前宣伝に踏み切ろうと準備。

しかし独自ビラも用意した初回の4月16日は、コロナの緊急事態宣言の発令で残念ながら延期に。

前途は職場を離れたOB主体でいつまで続けられるのか、気まぐれ・場当たり状態の正常化など多難ですが、現役を励ますためにも毎月1回は門前に立つことにチャレンジする

ネット配信 http://kenpou2020.jp//

5・3憲法集会ネット中継

5月3日、「許すな！安倍改憲発議平和といふ人権を！5・3憲法集会2020」新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、多くの人が集まる集会方式での開催は中止になりました。

☆5月3日（日）13時
国会前でネット中継全国に配信

新型コロナウイルスの感染が拡大し、「緊急事態宣言」をも発令したような状況にあっても、安倍首相は自民党の改憲4項目に触れて、緊急事態条項の創設は「きわめて

重く大切な課題」だと述べ、憲法審査会での改憲論議を呼びかけました。

全人類と日本の市民社会全体が新型コロナウイルスに立ち向かい、「いのちの確保」に全力を尽くしているにもかかわらず、その情勢を利用して危険な改憲論議を進めようとする姿勢は許されません。

新型コロナウイルス対策では、進出した症状が出るまではPCR検査を行わない、営業自粛は要請するが補償は行わない、病床の確保は崩壊の危機にある医療機関任せなど、政府の役割を全く果たさないなかで、権利制限の強化に向かおうとする安倍政権を、私たちはこのままにしておくわけにはいきません。新型コロナウイルスの感染は、私たち市民社会全体で克服していかなければなりません。

安倍政権による憲法改悪をくい止める取り組みは、さらに強めていく必要があると考えます。今後の行動については、現在の情勢が落ち着いていくなかで提起していくこ

愛知の5・3憲法集会は中止となりました。あいち市民アクションは5月3日の憲法集会に名古屋市内で6台の宣伝車を走らせます。それぞれの地域で、適切な感染防止対策に配慮して、創意工夫ある表現行動をされるよう呼びかけます。

といたします。

私たちは、平和といふちと人権を大切にして、日本国憲法を守り生かそうとするすべての人びとと共に、安倍政権に立ち向かっていく決意であることを申し上げ、今後の一層の連帯とご協力をお願いいたします。ともにがんばりましょう！

2020年4月15日
○平和といふちと人権を！
5・3憲法集会実行委員会
○戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
○安倍9条改憲NO！全国市民アクション